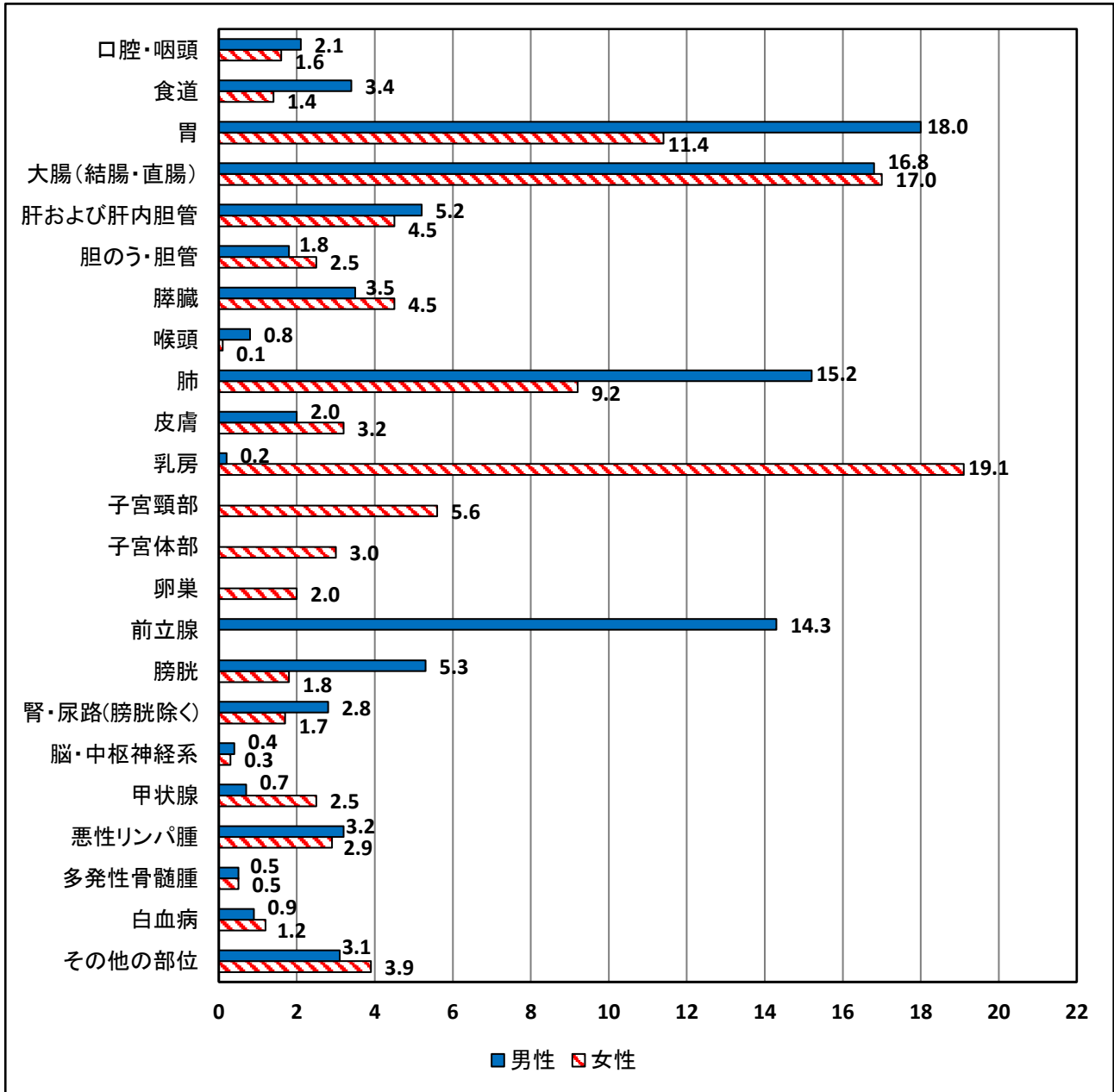


罹患割合(%)：部位別・性別

男性の罹患割合で最も多いのが、胃がんであり、次いで大腸がん（結腸・直腸）、前立腺がん、肺がんである。女性で最も多いのが、乳がんであり、次いで大腸がん（結腸・直腸）、胃がん、肺がんと続く。

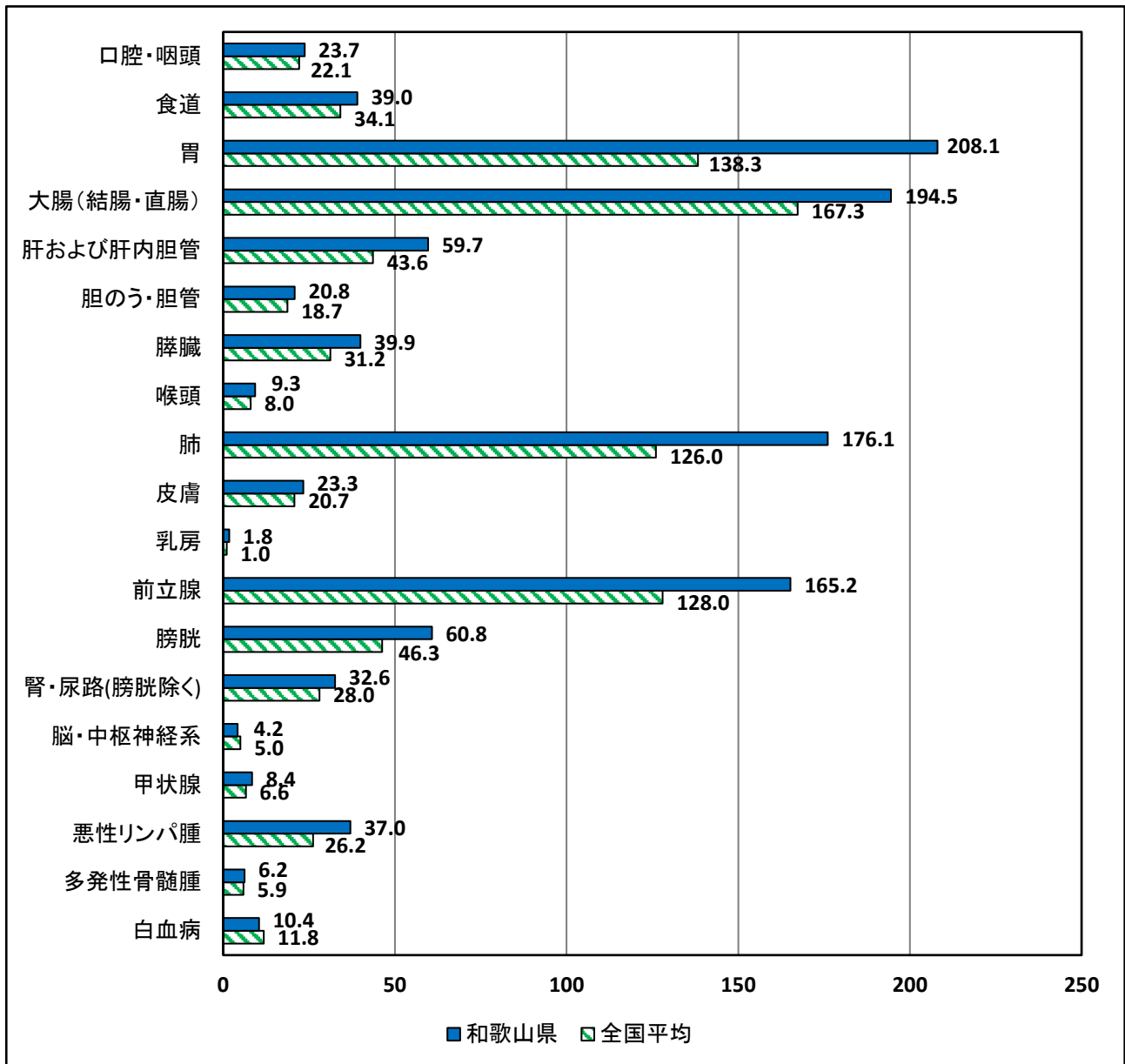


※ 大腸の内訳：(男性) 結腸 10.9、直腸 5.9 (女性) 結腸 12.4、直腸 4.6

※ 標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

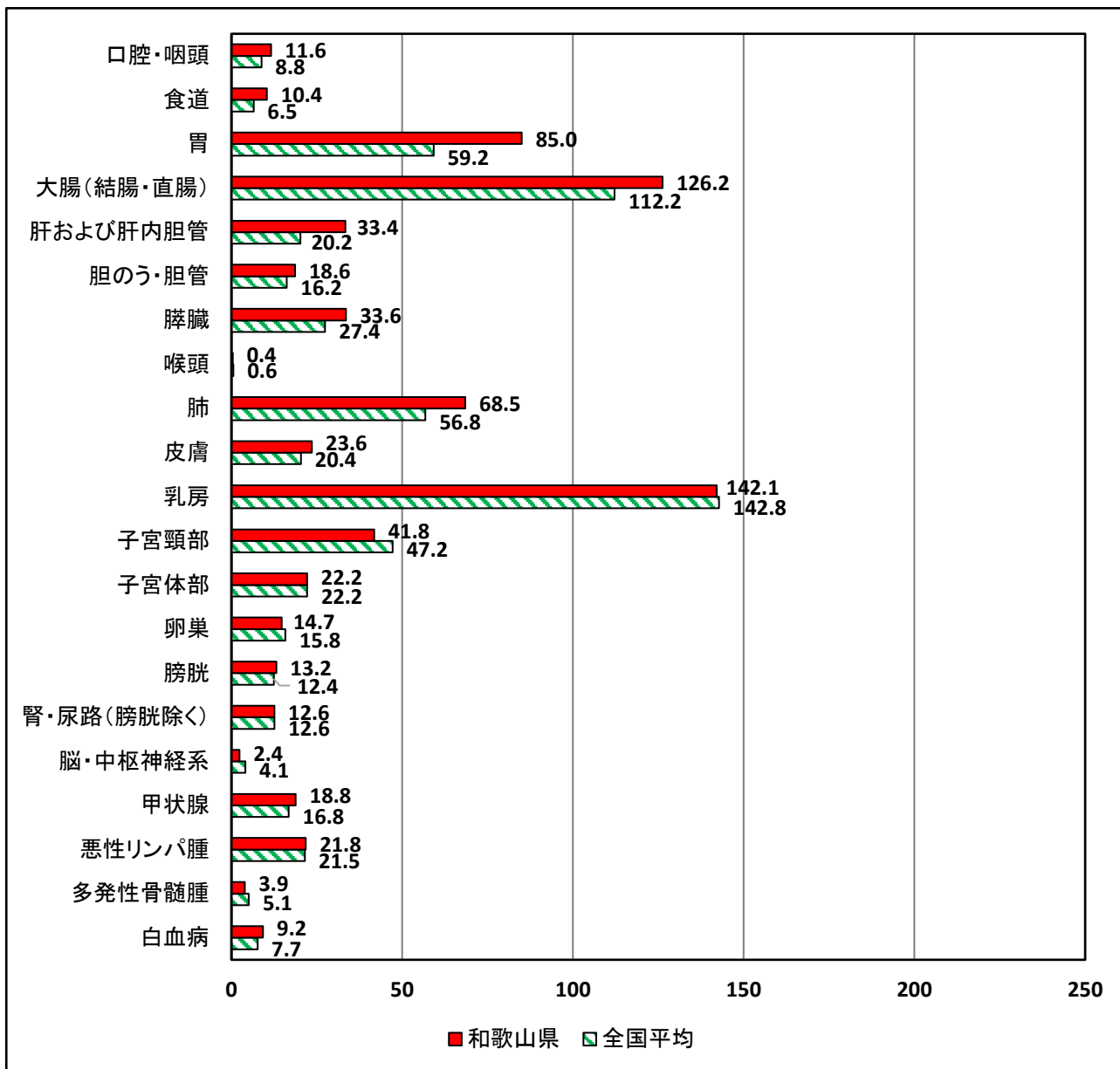
全国平均との比較で見ると、男性ではほぼすべての部位で、全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肝および肝内胆管がん、肺がん、前立腺がんが顕著に高くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

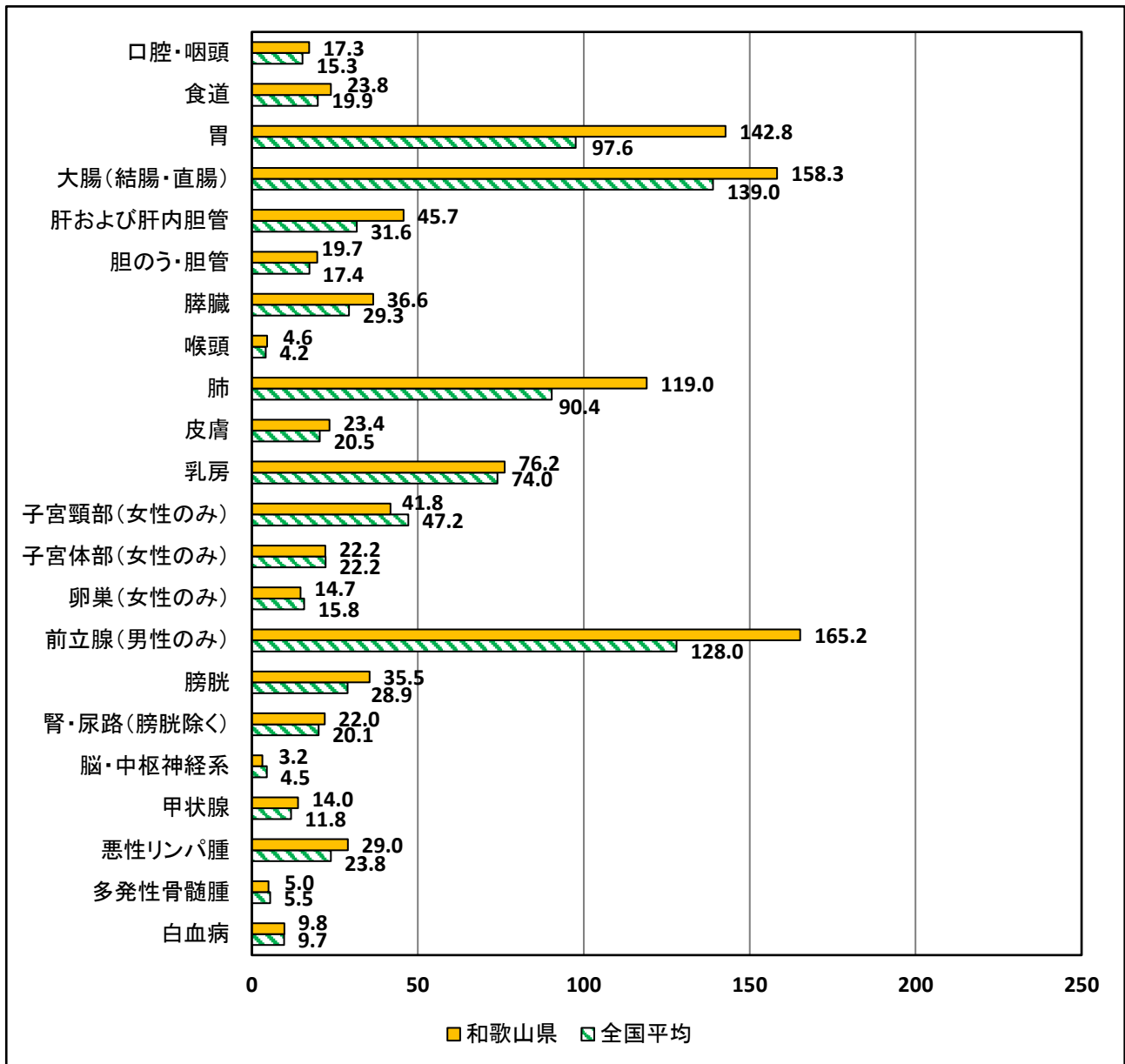
全国平均との比較でみると、女性でもほとんどの部位が全国平均より高い粗罹患率となっている。特に、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肺がんが顕著に高くなっている。また、子宮頸部がん、卵巣がんは全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別粗罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

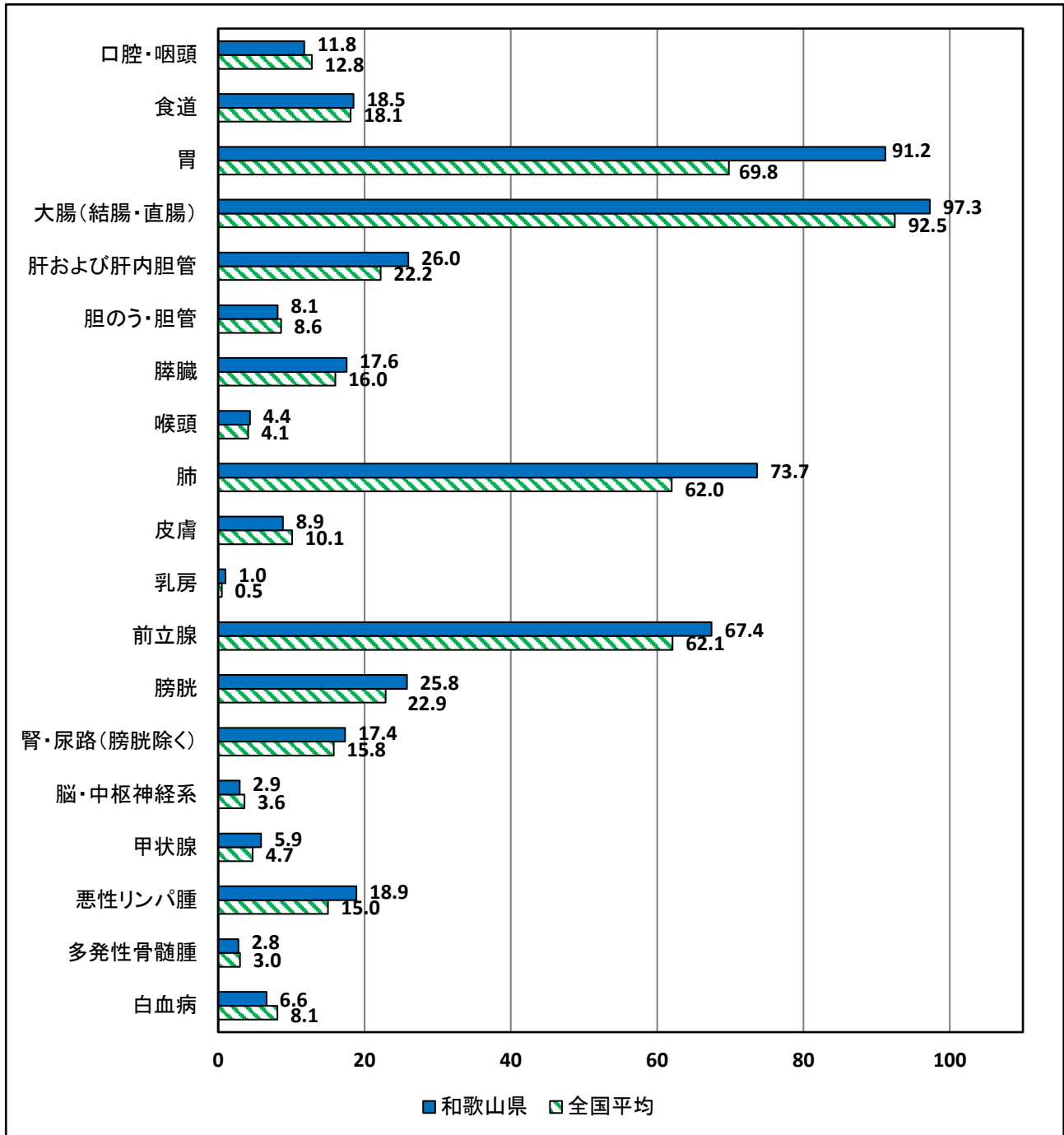
全国平均との比較で見ると、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肝および肝内胆管がん、肺がん、前立腺がんなどで、全国平均より高い粗罹患率となっている。また、子宮頸部がん、卵巣がんは全国平均より低くなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（男性）・和歌山県と全国平均との比較

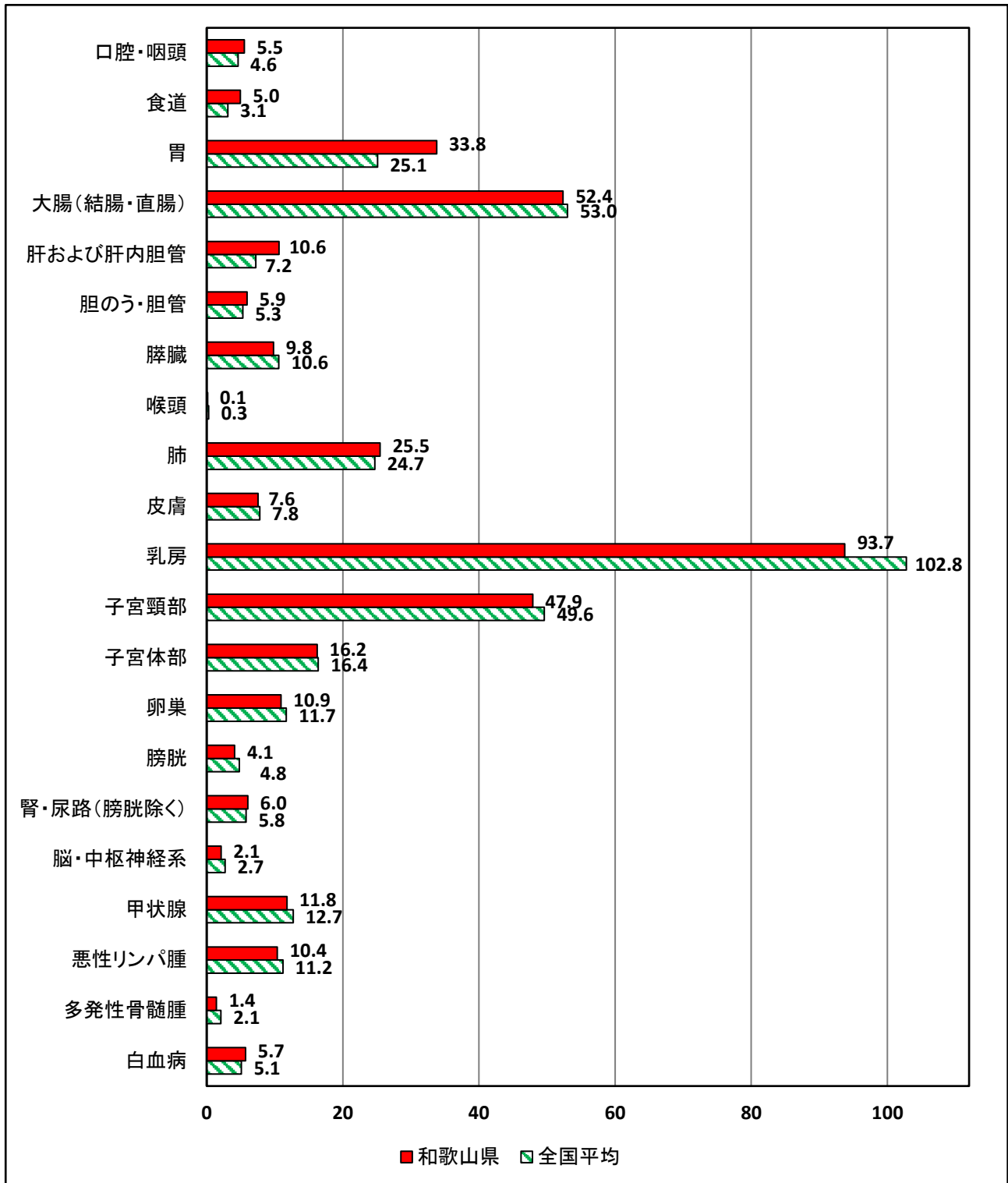
男性の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べると全国平均との差は縮まっているが、胃がん、大腸がん（結腸・直腸）、肝および肝内胆管がん、肺がんは、調整後も全国平均との差は大きくなっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（女性）・和歌山県と全国平均との比較

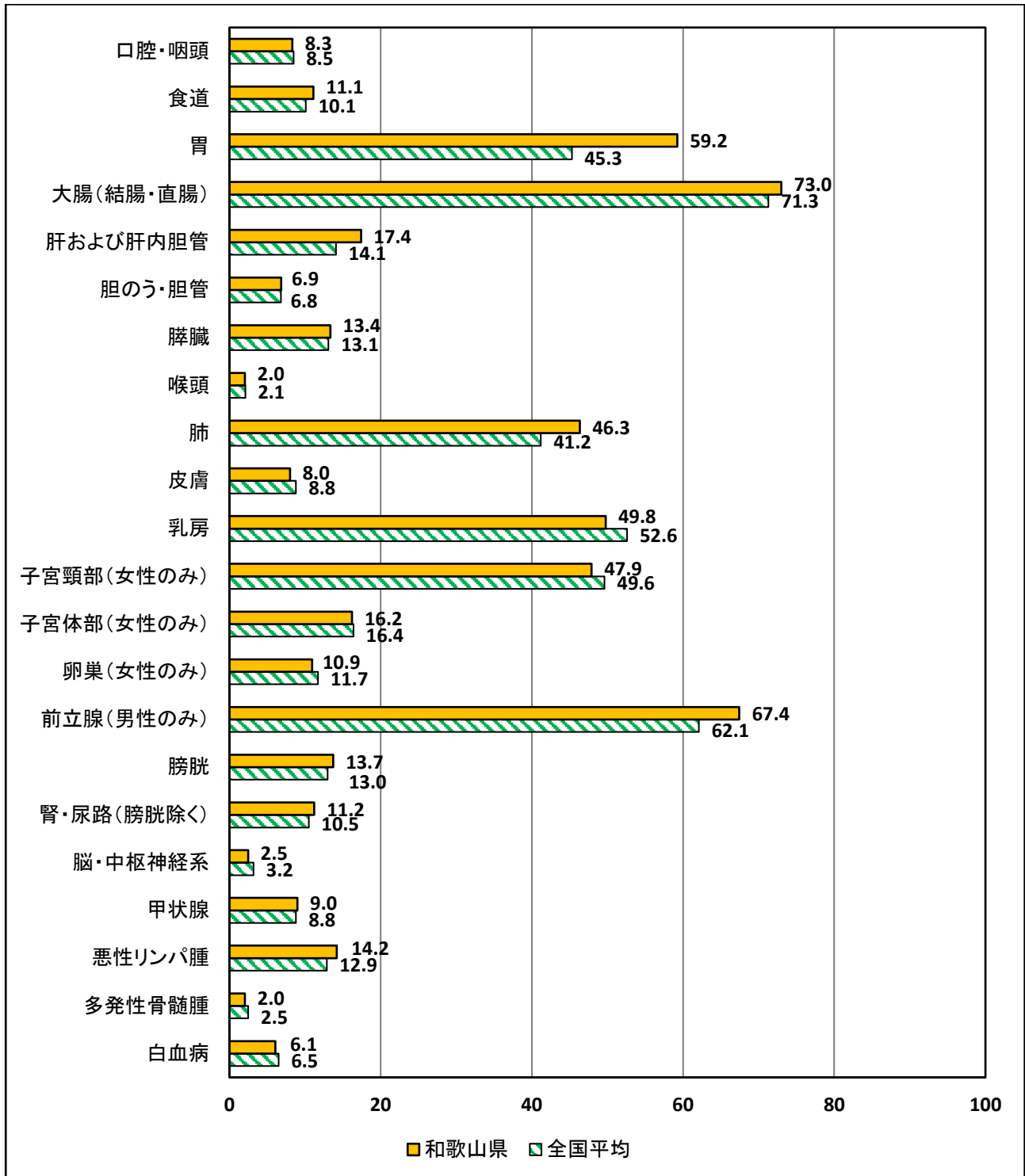
女性の罹患率は、年齢調整をすることにより、粗罹患率と比べ、大腸（結腸・直腸）がんや膵臓がんは全国平均を下回り、胃がんは全国平均との差が縮まっている。



※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

部位別年齢調整罹患率（男女計）・和歌山県と全国平均との比較

男女計の罹患率は、年齢調整をすることにより、全国平均と比較して、胃がん、大腸（結腸・直腸）がん、肝および肝内胆管がん、肺がん、前立腺がんは差が縮まっている。

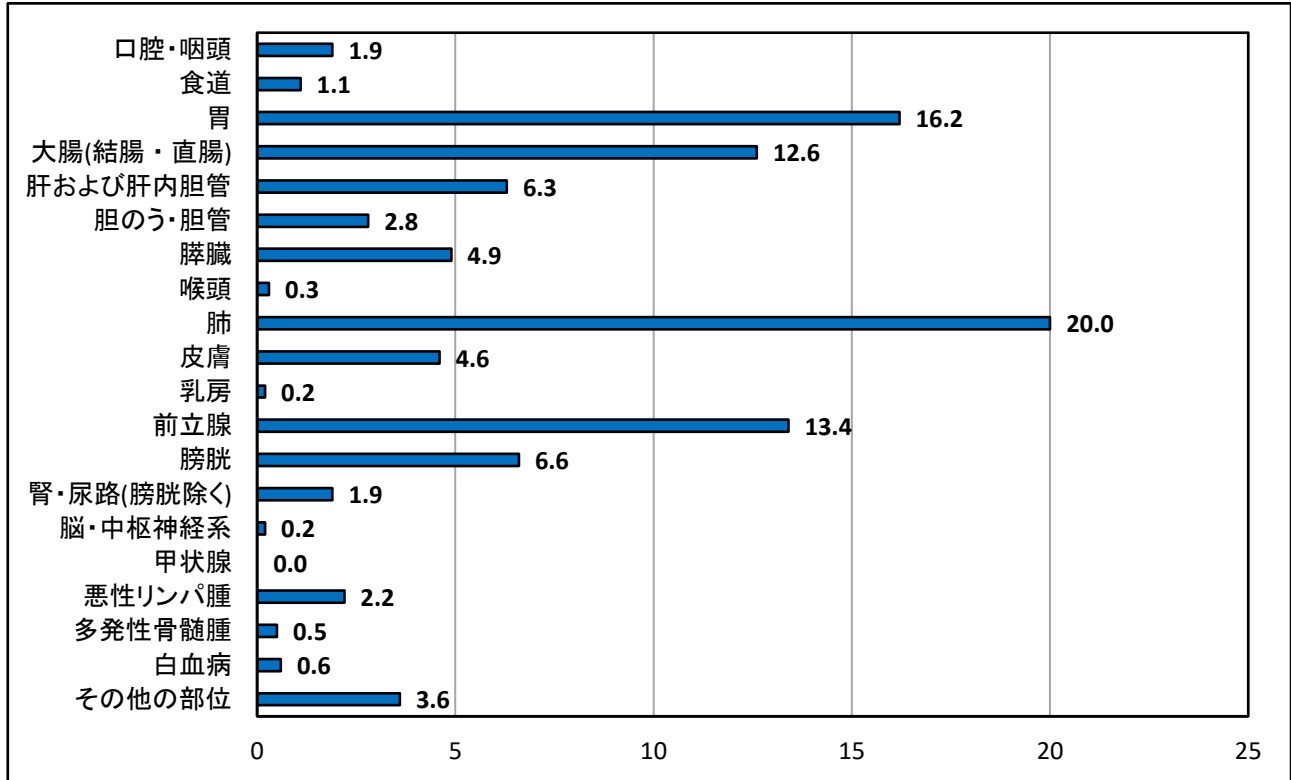


※ 和歌山県の数字は、標準集計表の表 1-A、1-B から作成

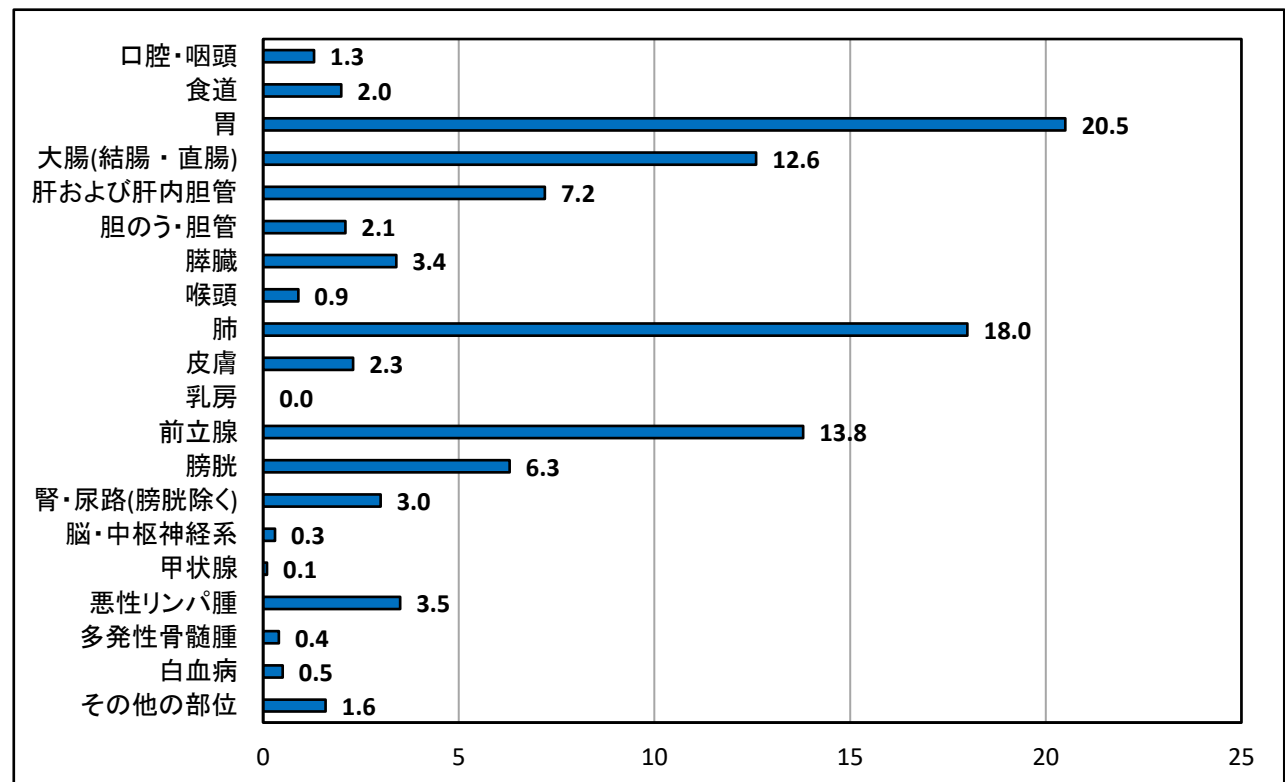
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（男性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85歳以上では、肺がん、胃がん、前立腺がんの順に高く、80-84歳では、胃がん、肺がん、前立腺がんの順に高くなっている。

【85歳以上】

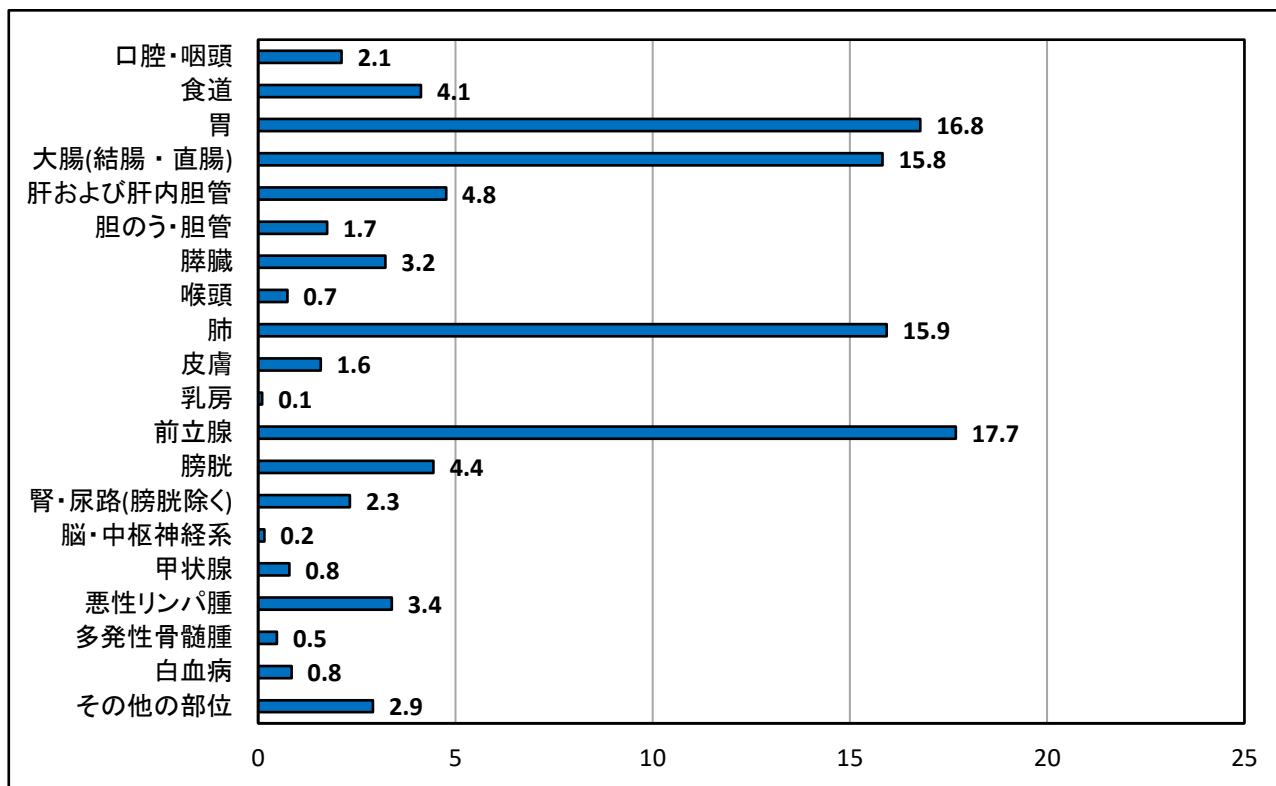


【80-84歳】

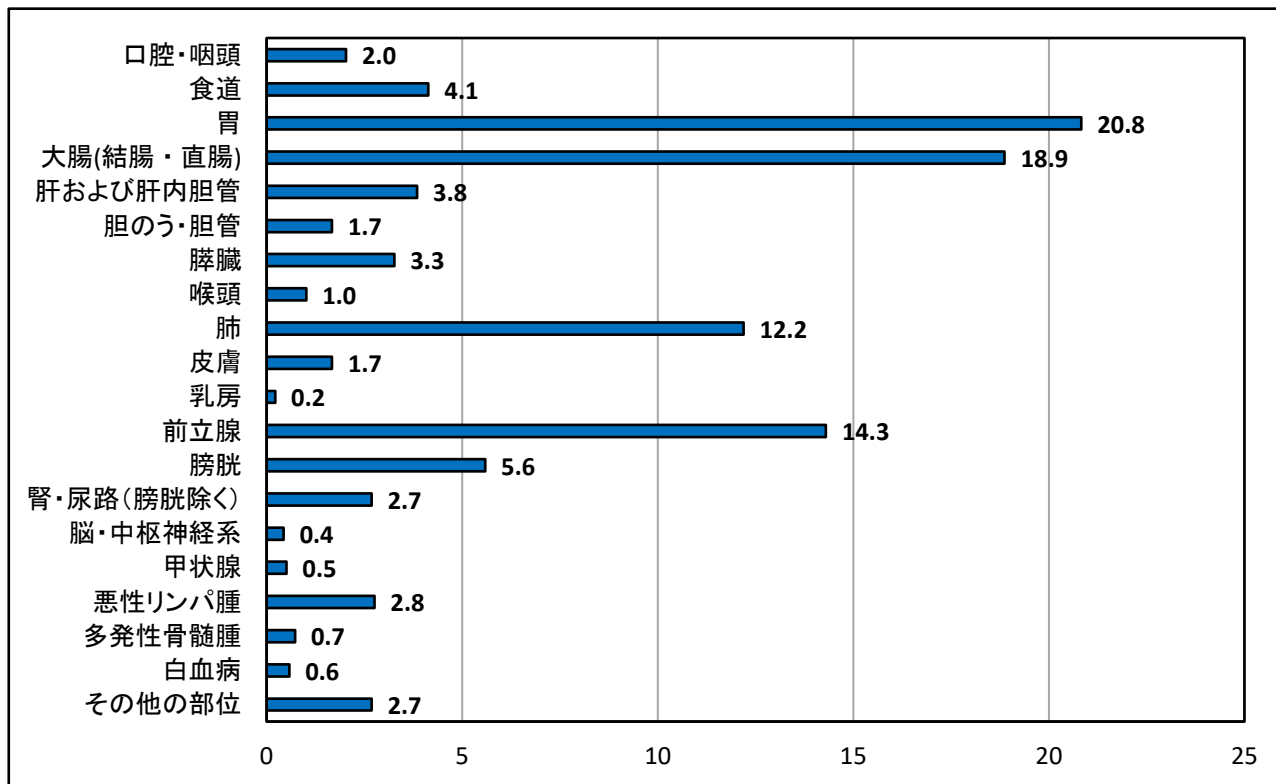


70代では前立腺がん、胃がん、肺がんの順に高く、60代では胃がん、大腸（結腸・直腸）がん、前立腺がんの順に高くなっている。

【70-79歳】

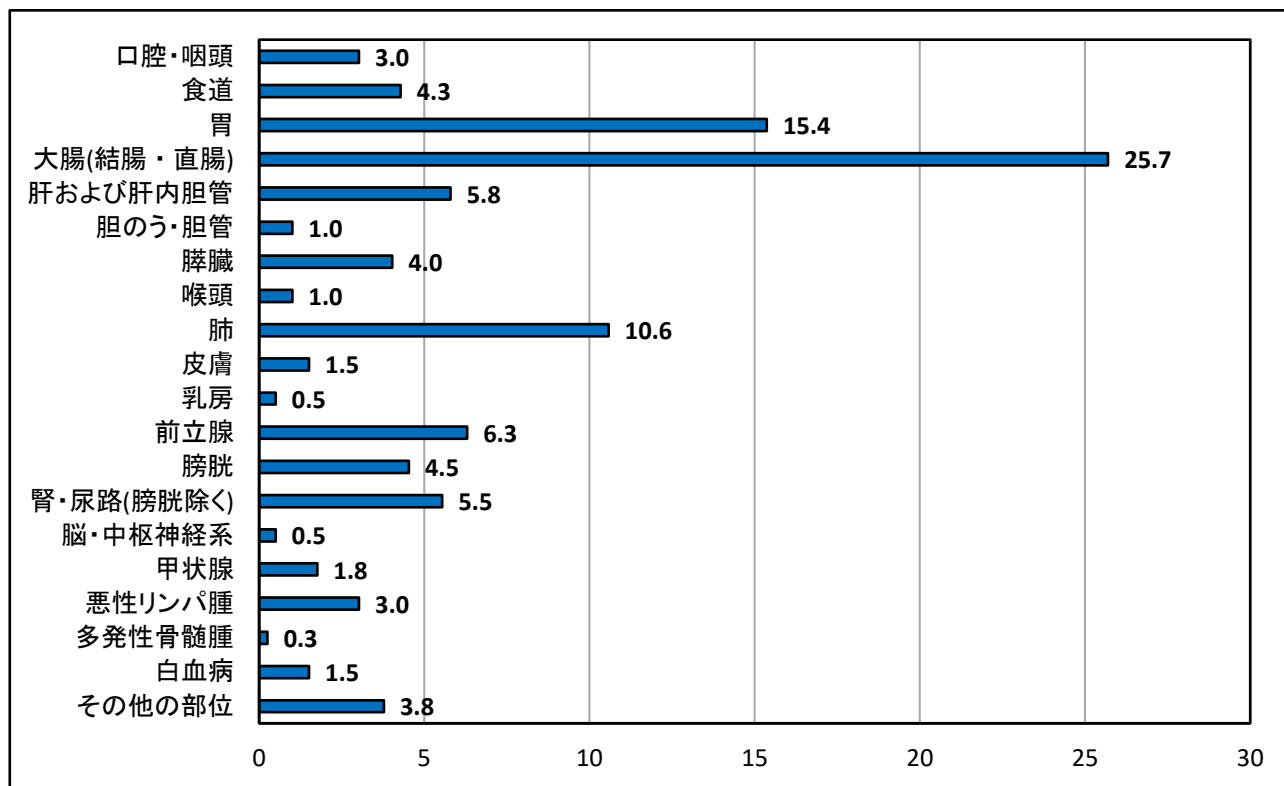


【60-69歳】

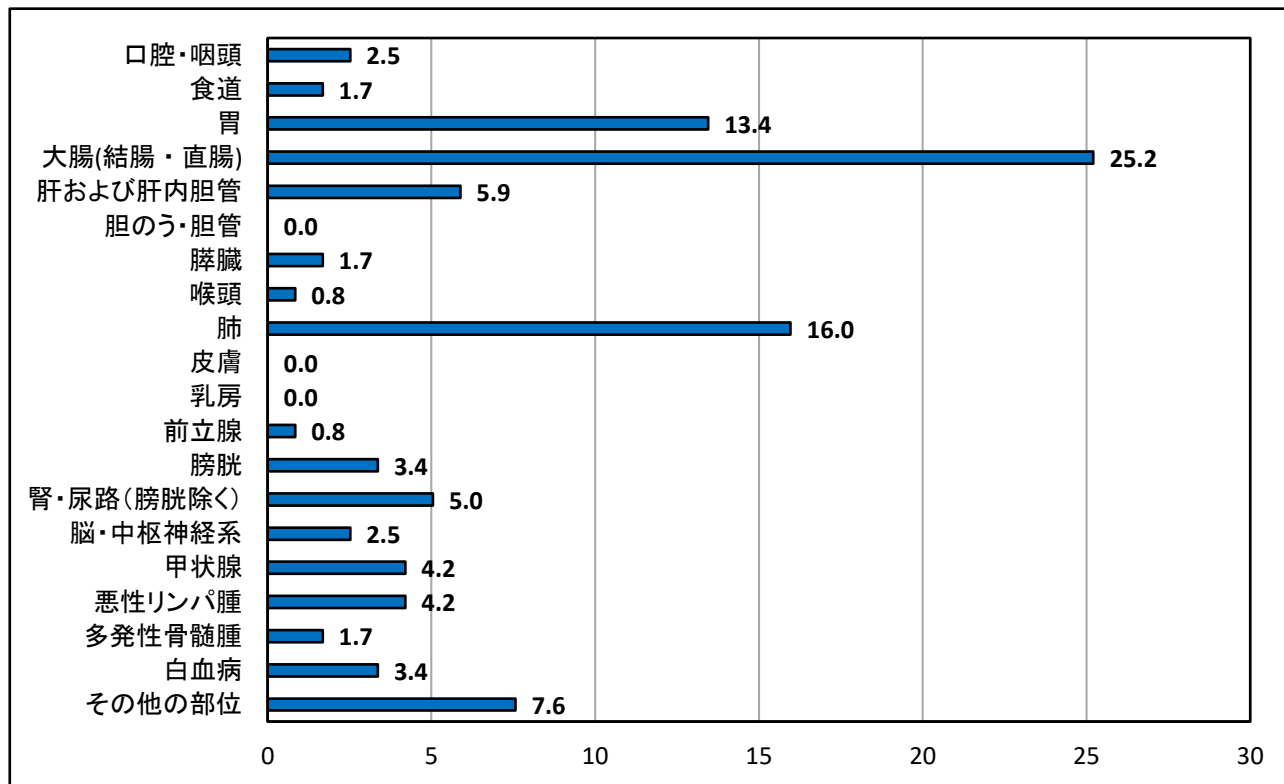


50代では大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高く、40代では大腸（結腸・直腸）がん、肺がん、胃がんの順に高くなっている。

【50-59 歳】

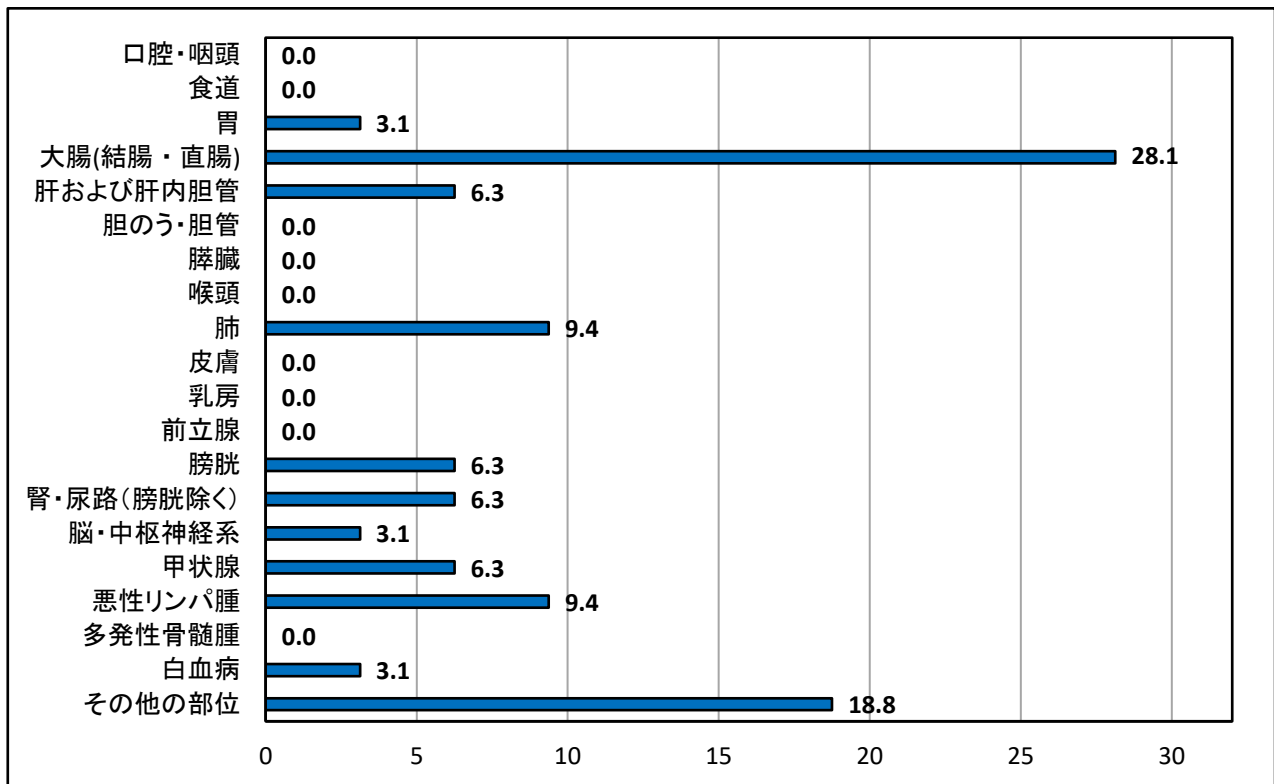


【40-49 歳】

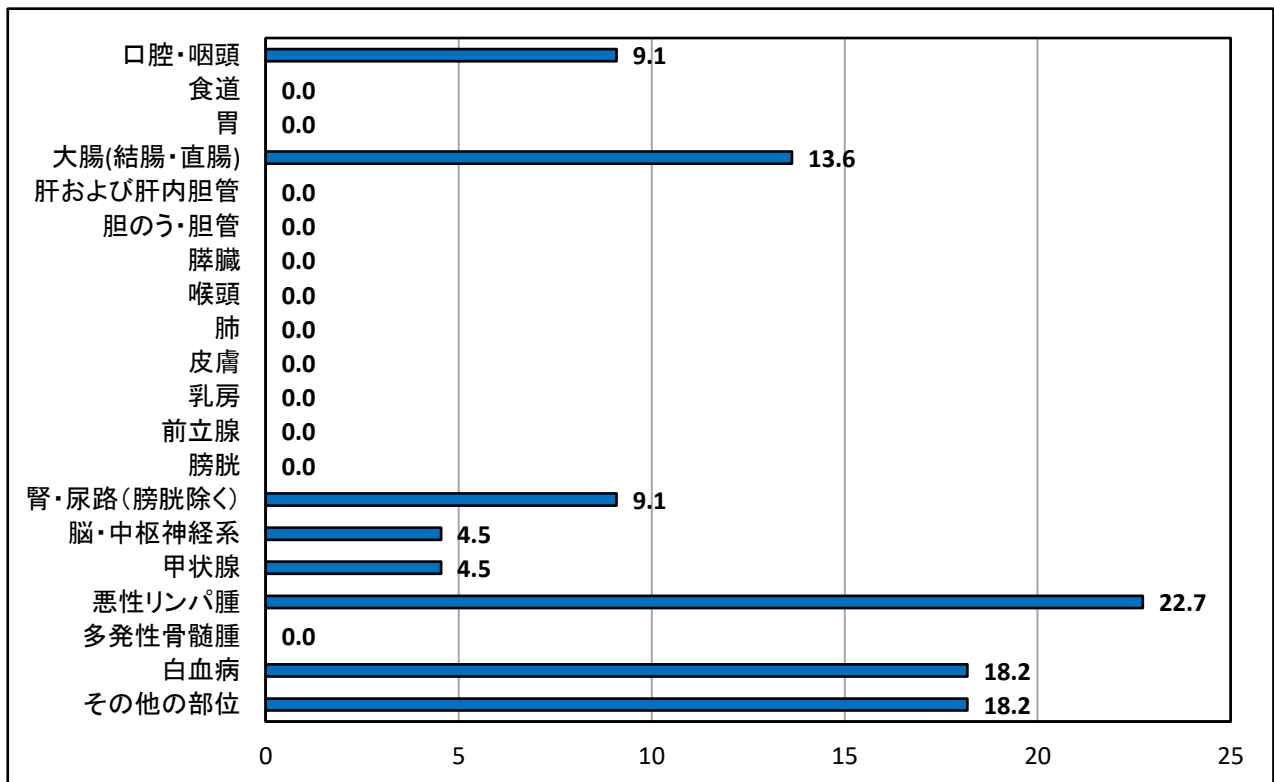


30代は、大腸（結腸・直腸）がんが最も高く、肺がん、悪性リンパ腫が続く。20代以下では悪性リンパ腫が最も高く、白血病が次いで高い。

【30-39 歳】



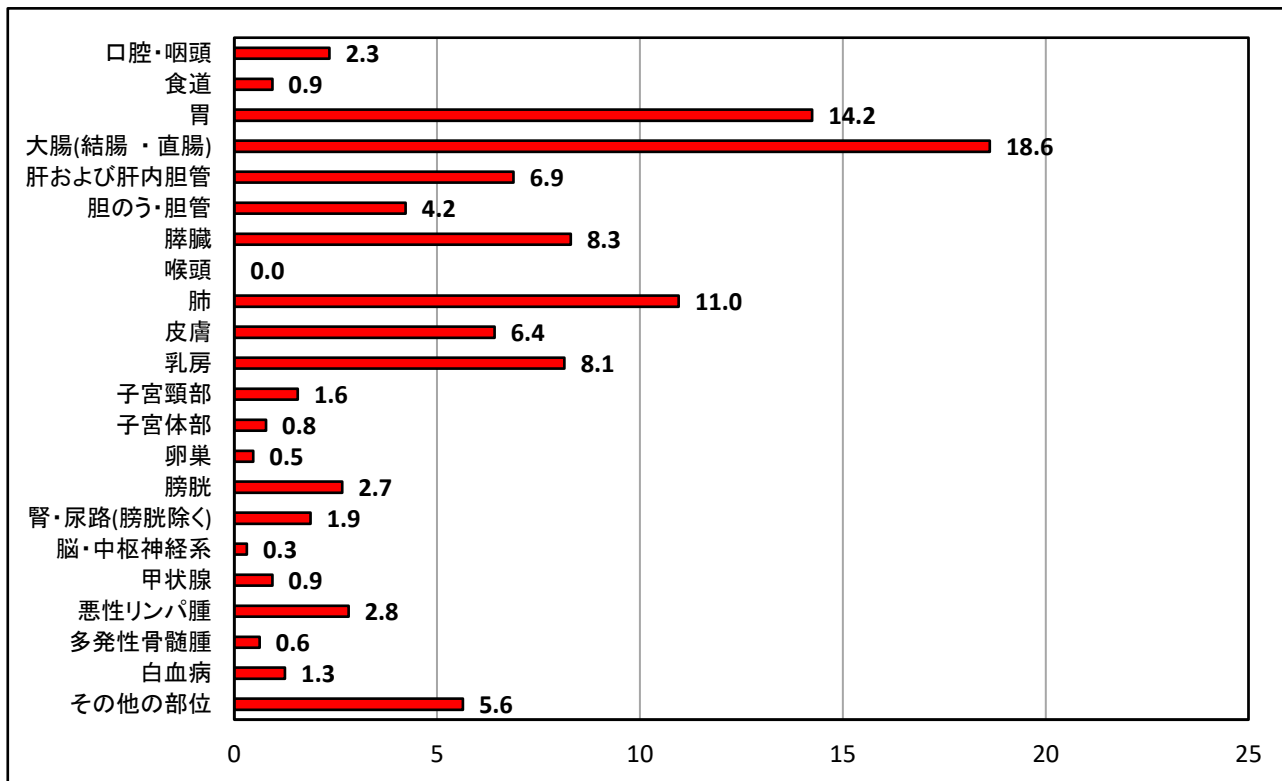
【0-29 歳】



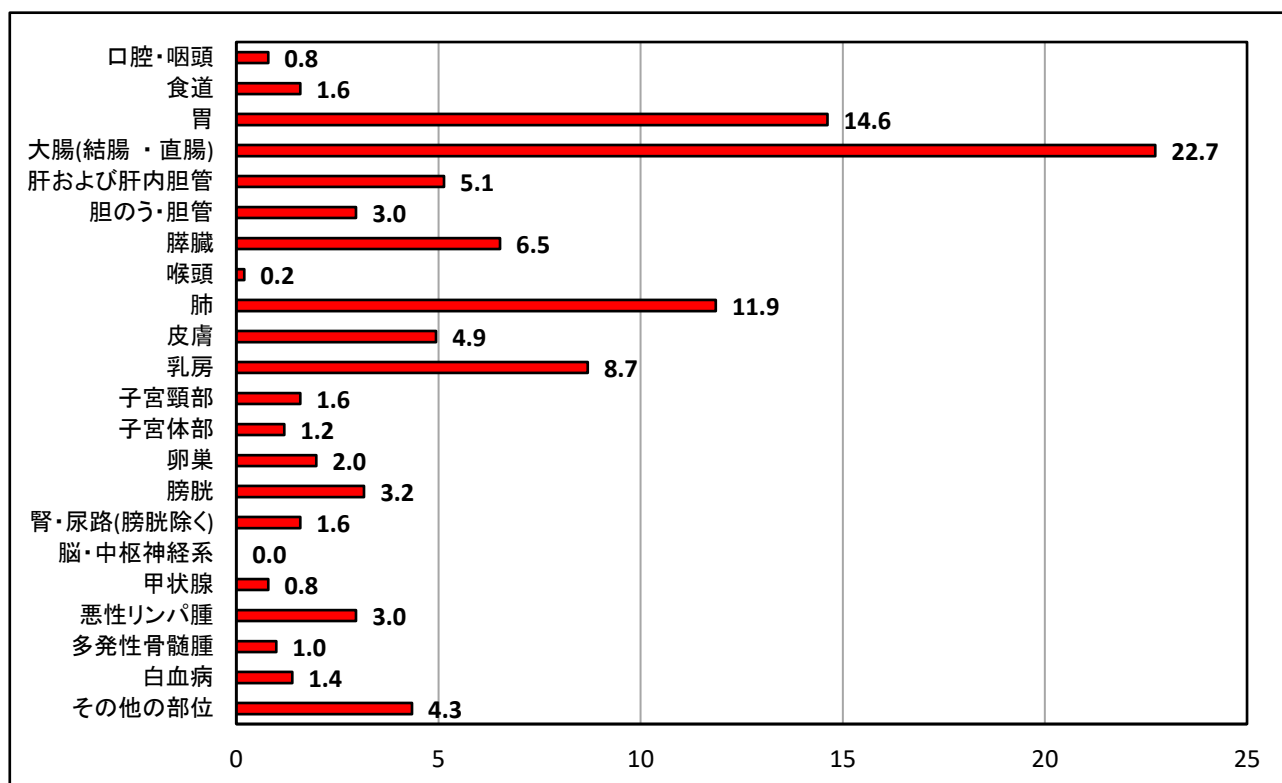
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（女性） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

80-84 歳及び 85 歳以上の両年齢階級とも大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

【85 歳以上】

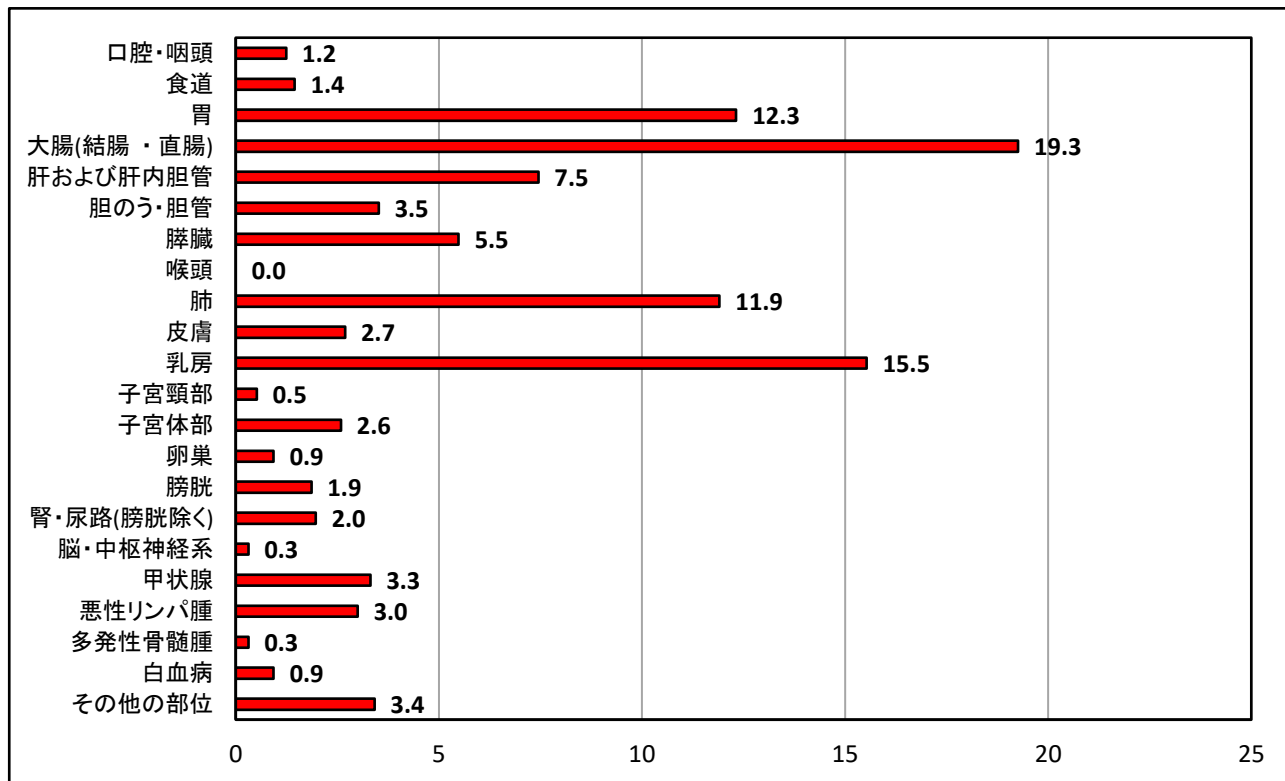


【80-84 歳】

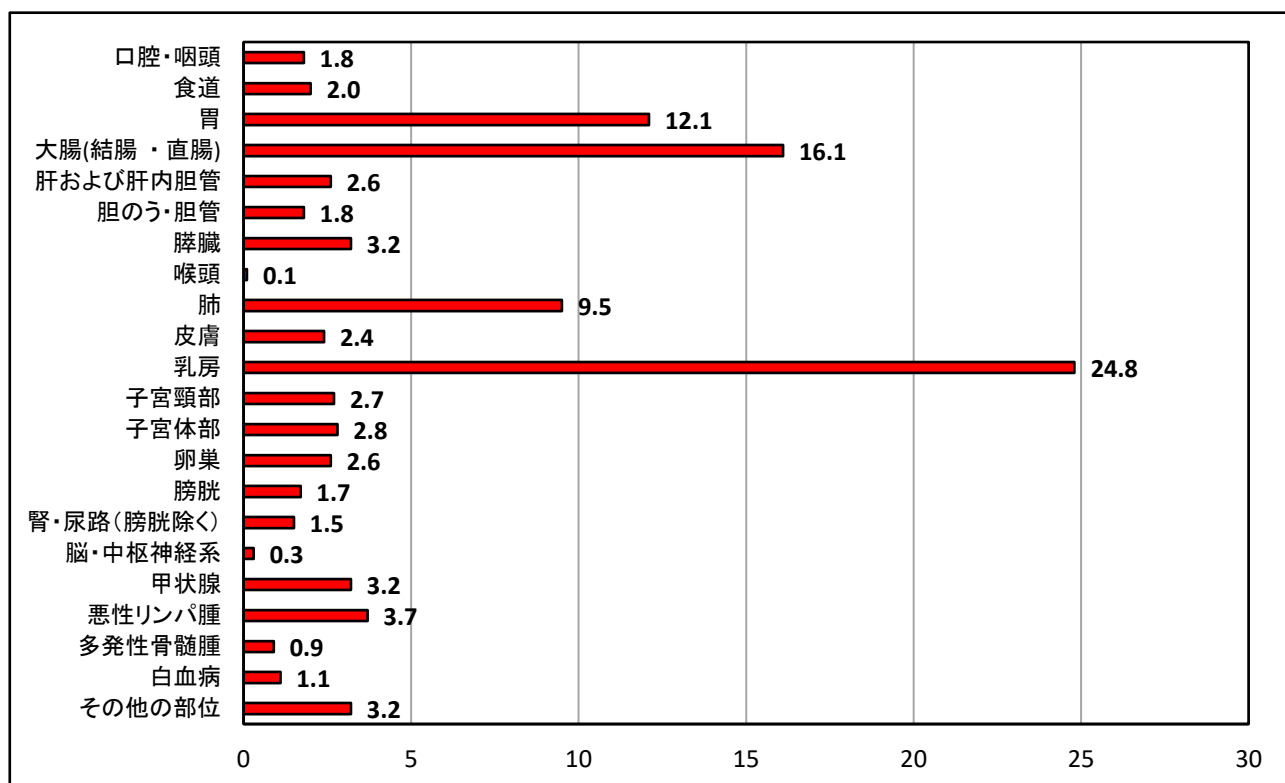


70代では、大腸（結腸・直腸）がん、乳がん、胃がんの順で高く、60代では乳がん、大腸（結腸・直腸）がん、胃がんの順で高くなっている。

【70-79歳】

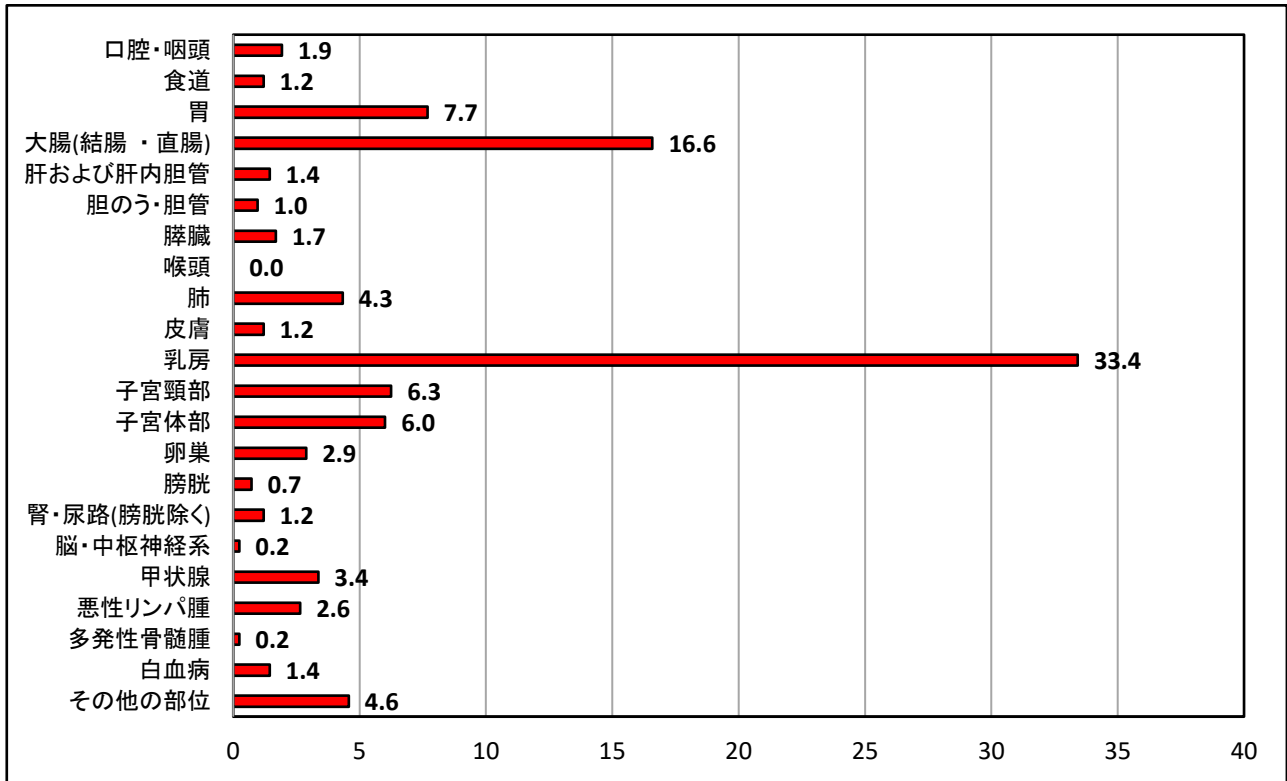


【60-69歳】

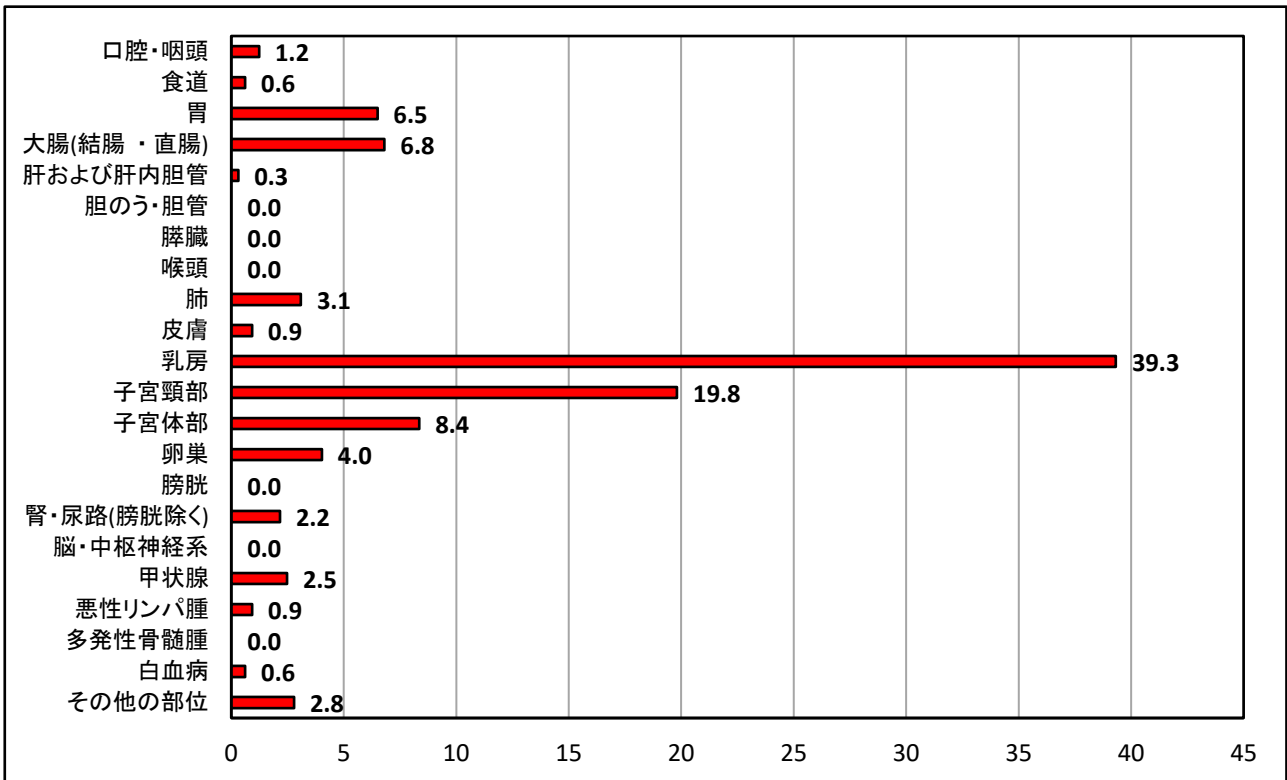


40歳代から50代になると、乳がんが最も高くなっており、40代では子宮頸がんも高い。

【50-59歳】

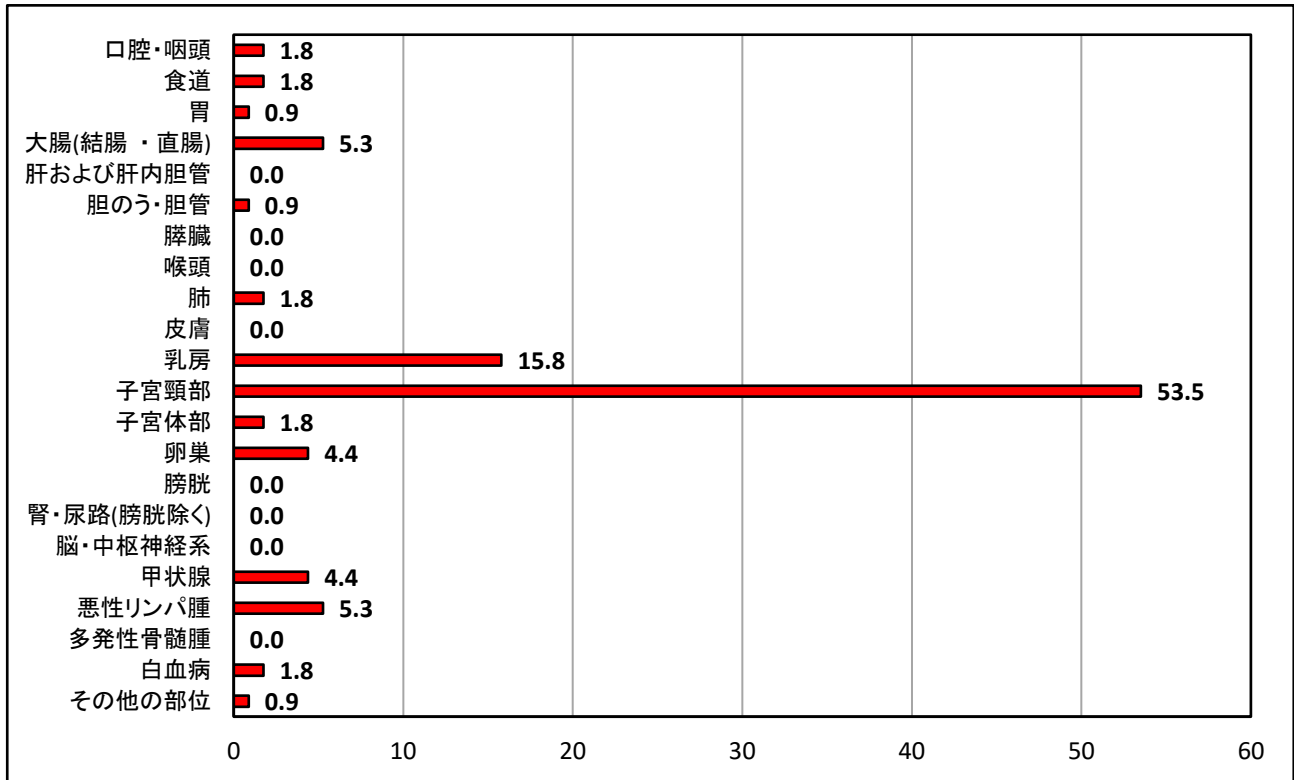


【40-49歳】

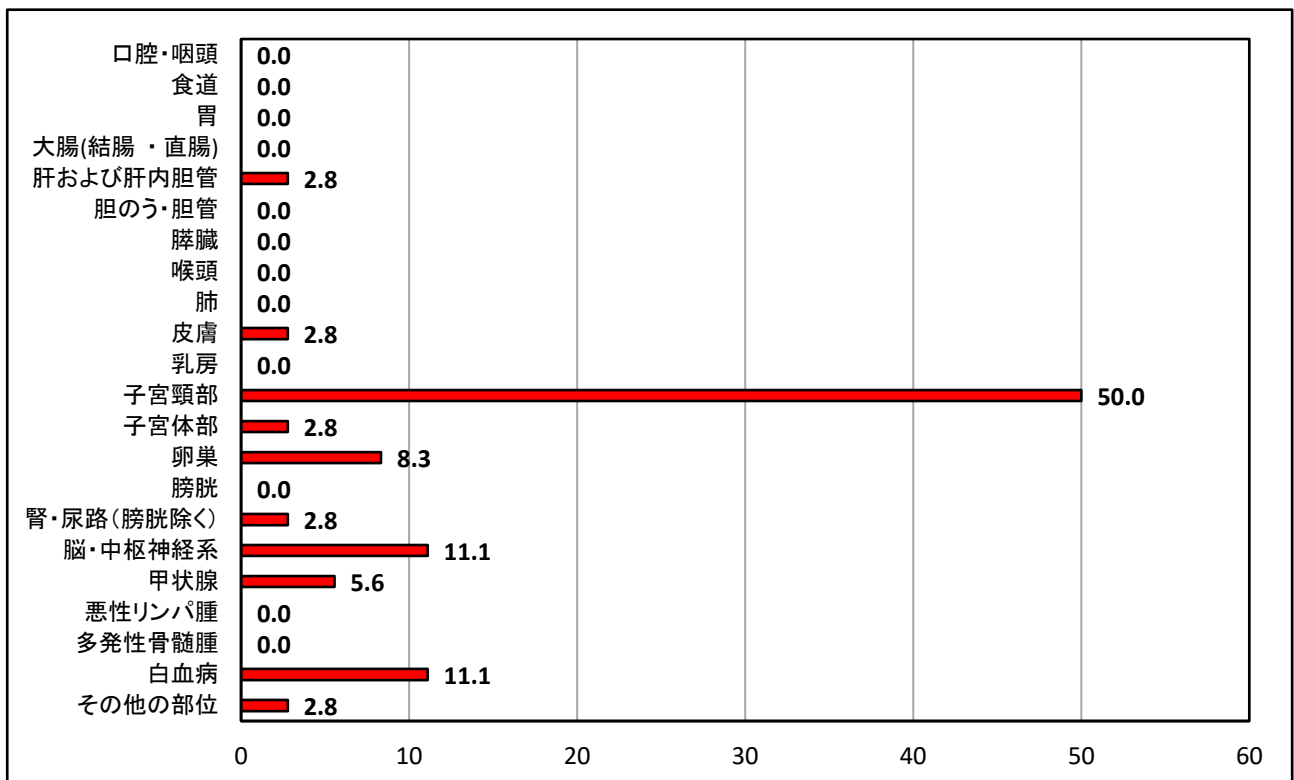


30代と20代以下ともに子宮頸がんが突出して高く、約5割を占めている。また、30代では乳がん、20代以下では白血病と脳・中枢神経系がんが子宮頸がんに次いで高くなっている。

【30-39歳】



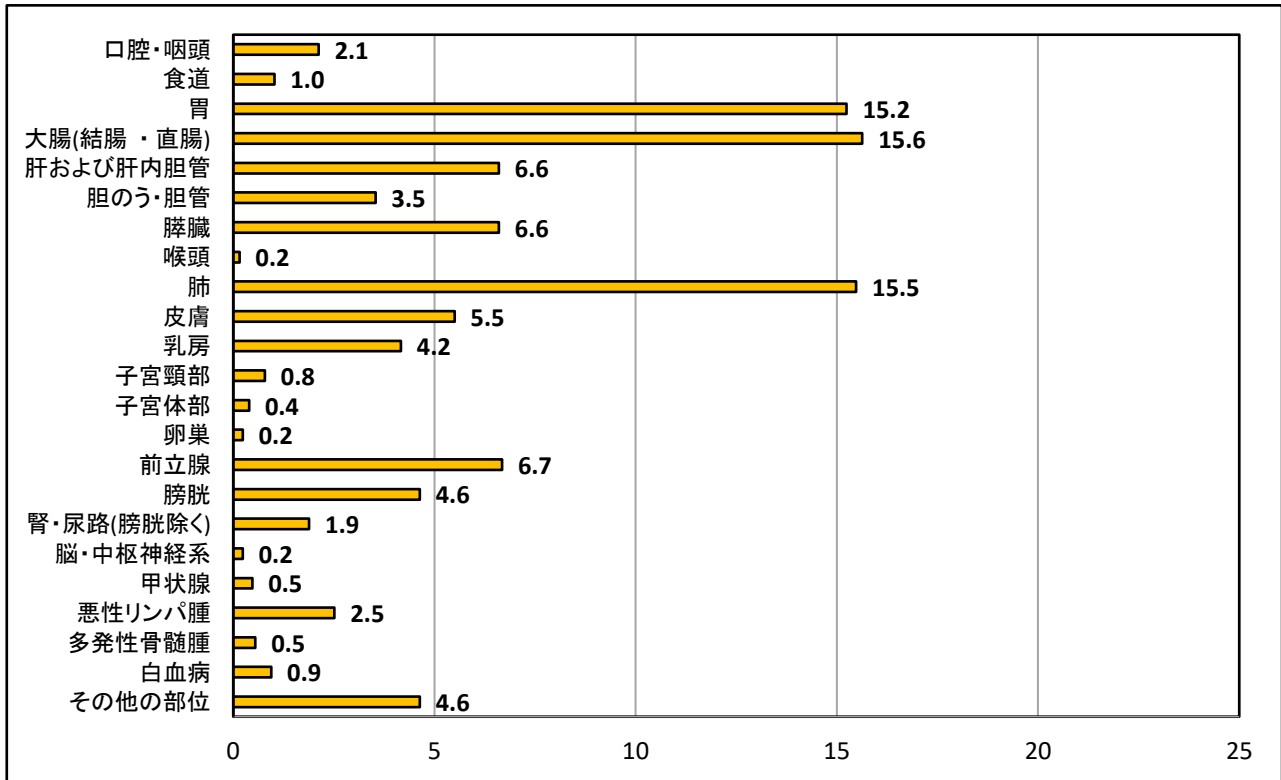
【0-29歳】



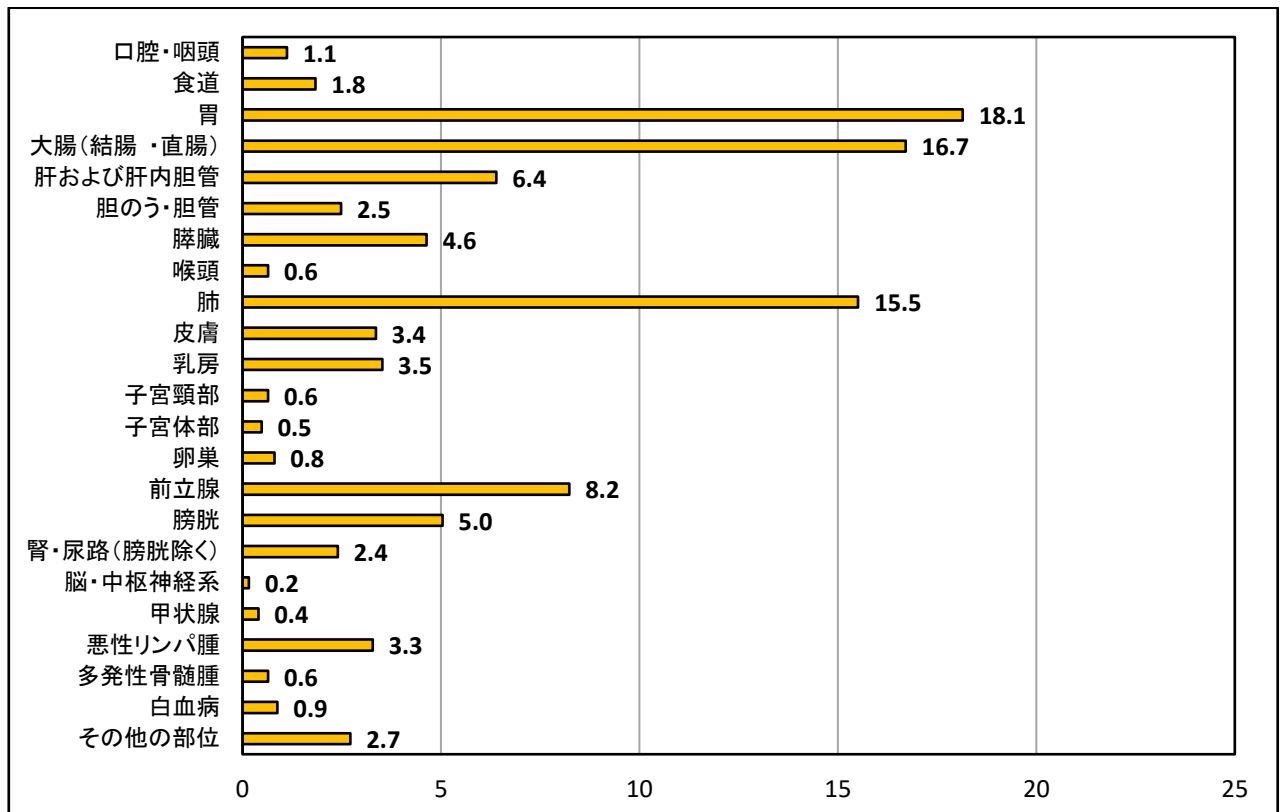
年齢階級別罹患割合(%)：部位別、性別（男女計） ※標準集計表の表 2-A、2-B から作成

85歳以上では、大腸（結腸・直腸）がん、肺がん、胃がんの順に高く、80-84歳では、胃がん、大腸（結腸・直腸）がん、肺がんの順に高くなっている。

【85歳以上】

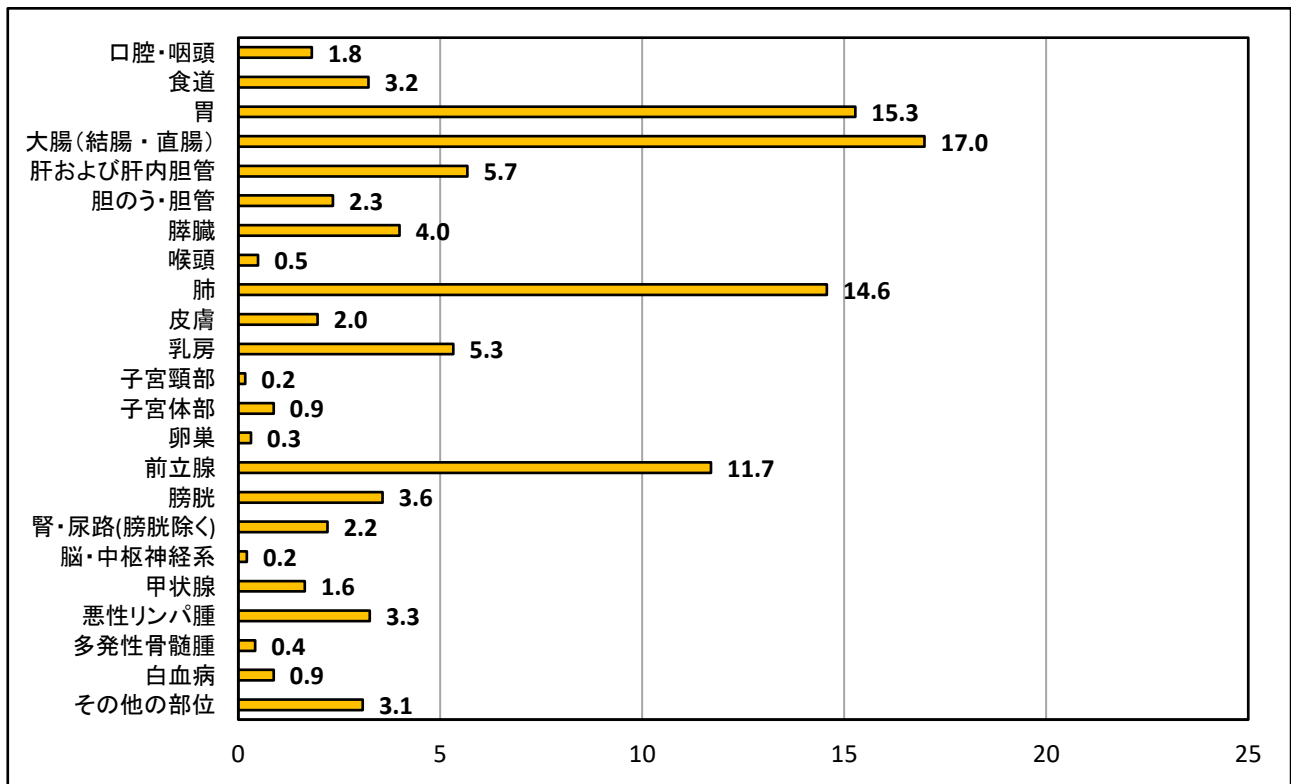


【80-84歳】

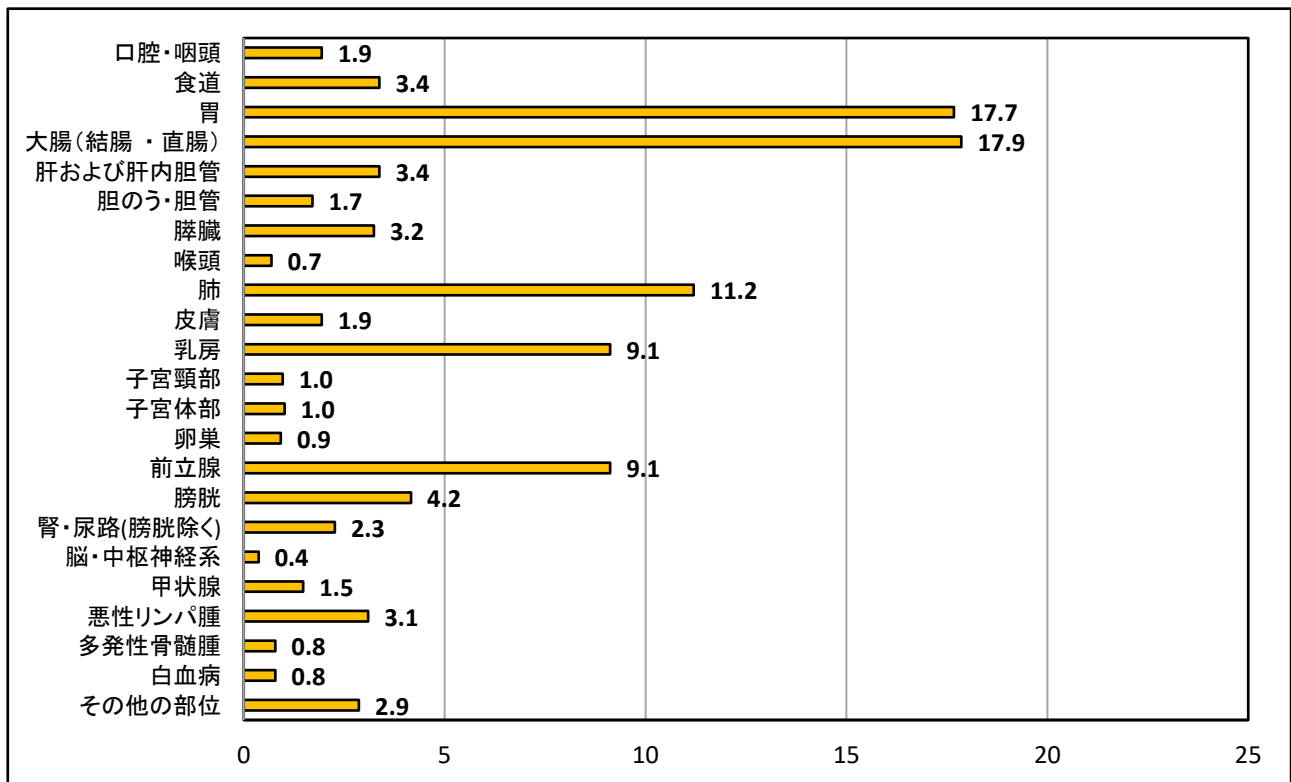


60代及び70代では、両年齢階級ともに、大腸（結腸・直腸）がん、胃がん、肺がんの順に高くなっている。

【70-79歳】

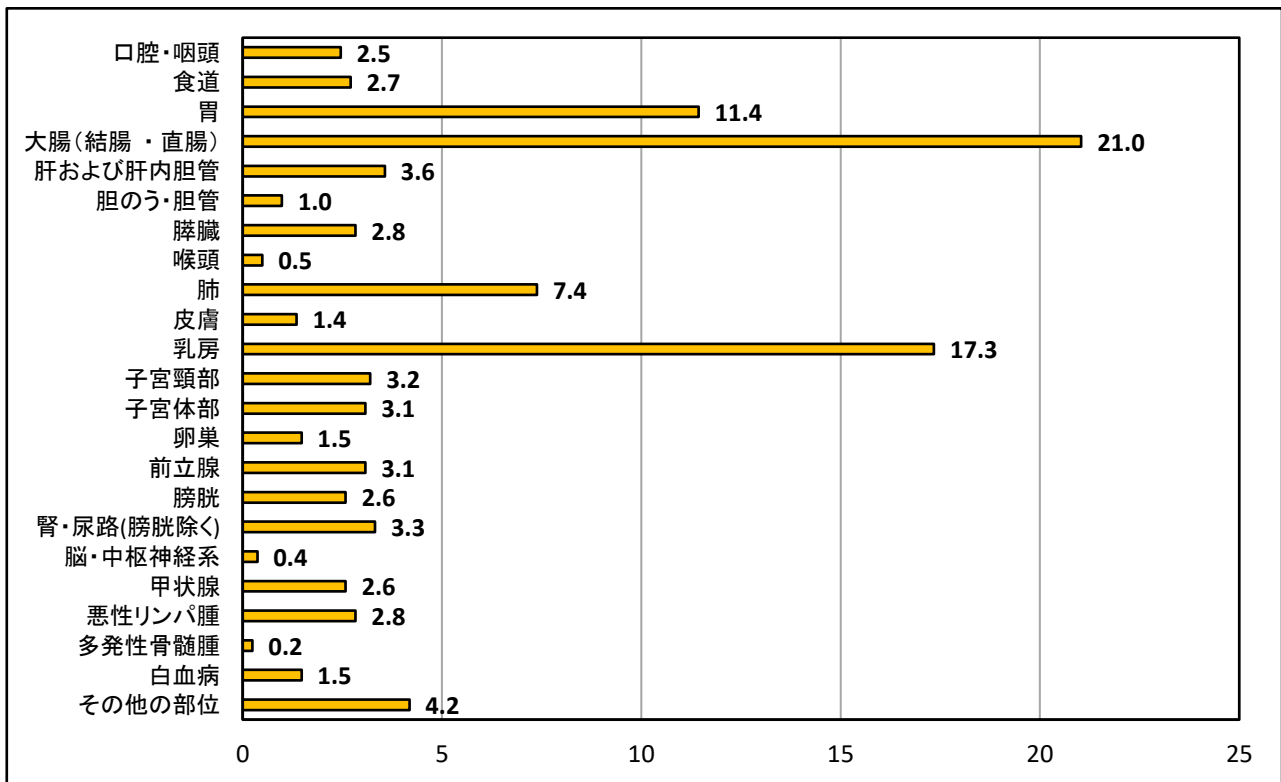


【60-69歳】

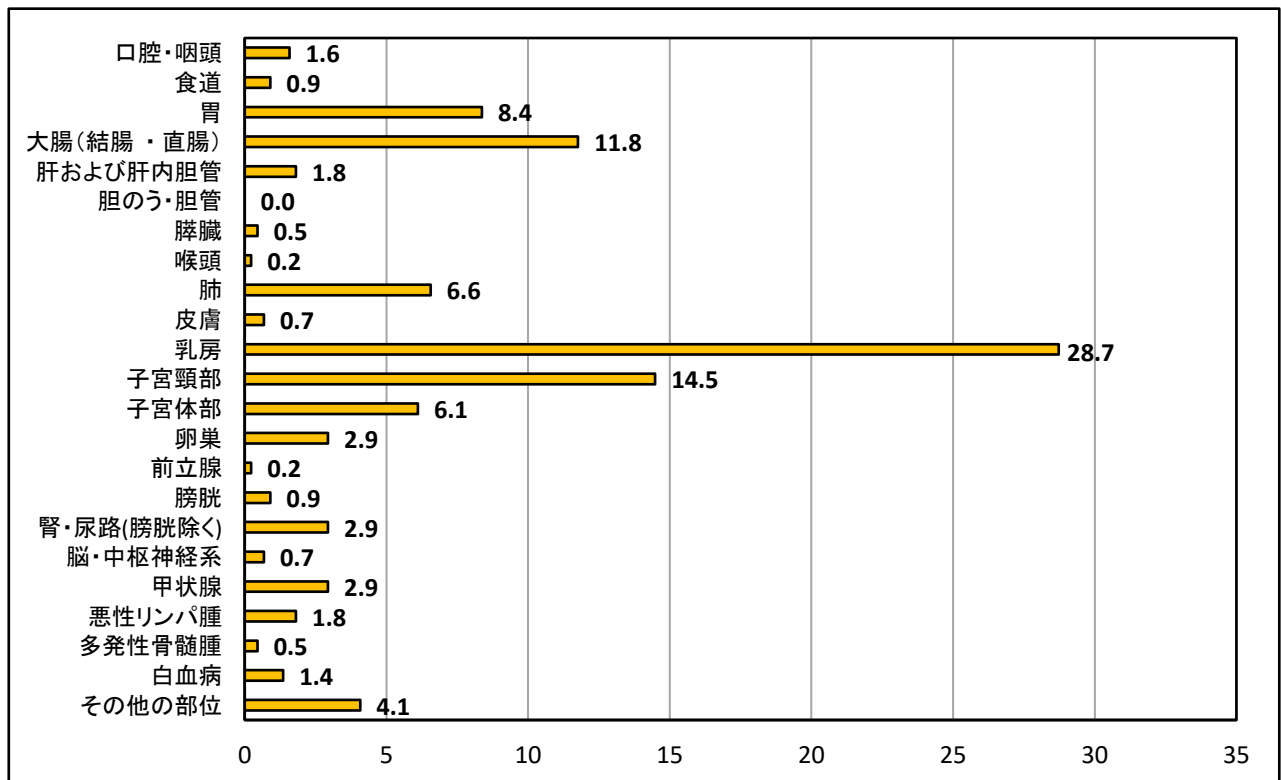


50代では、大腸（結腸・直腸）がん、乳がん、胃がんの順に高く、40代では乳がん、子宮頸がん、大腸（結腸・直腸）がんの順に高くなっている。

【50-59歳】

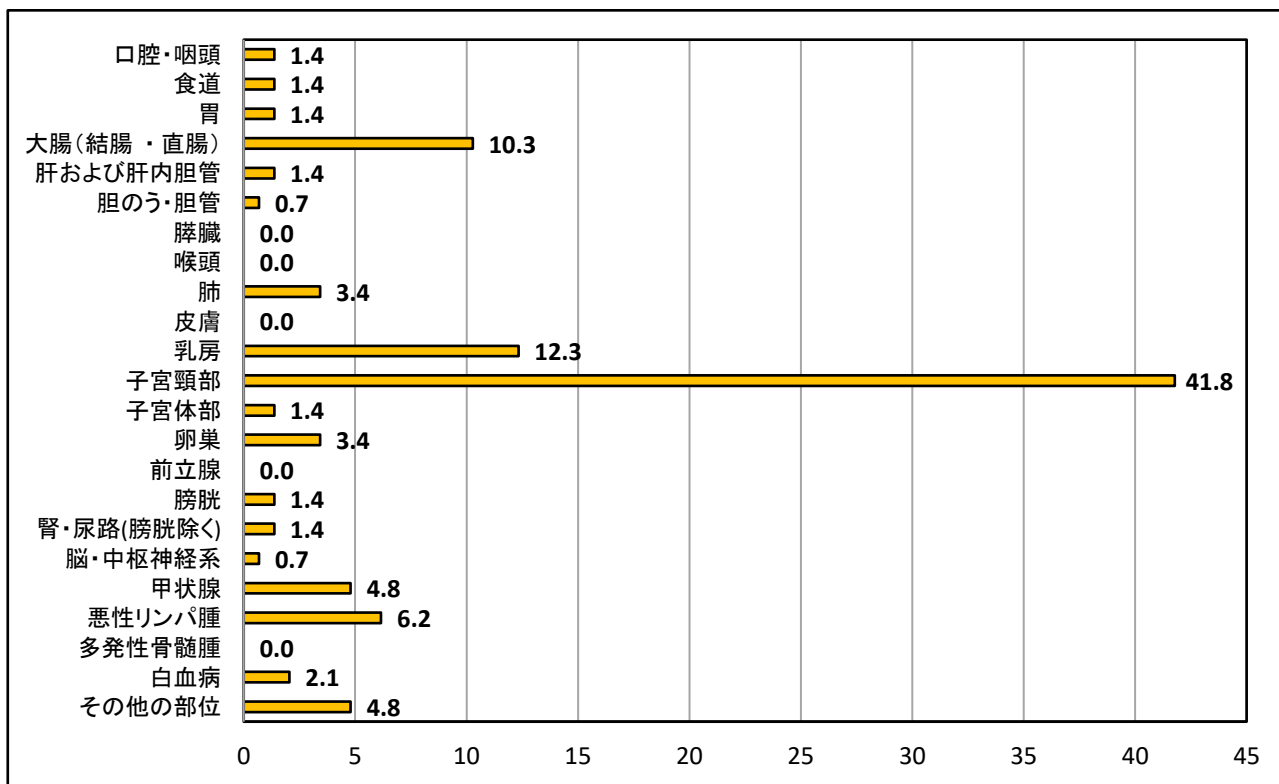


【40-49歳】



30代と20代以下では、子宮頸がんが突出して高くなっている。また、30代では乳がんが、20代以下では白血病が子宮頸がんに次いで高くなっている。

【30-39歳】



【0-29歳】

